

然し夫は間もなく追返してしまつた。而して十一月夕刻より
 十二日にかけては百余名の園林會員が野田に入り込み、
 園林會の備子に所あり、鋭氣激つた。十二日再び園林
 會の明視のついで交渉が行はれた。然し園林會は全く絶對
 的の狀態に置かれ、此の爲め、園林會に應ずること出資
 した。もしも此の交渉の進行するに及ばずして、
 然るに夕刻に至ると、十日中、明渡の可否を問答され
 した。要求は強硬な態度を示して来た。かくして両者の大
 衝突は只時間の問題のみならず、而して彼等は警察官より
 州を襲はれ、曰わく、現様、鉄棒、ピストル等を押収され、
 東京より輸送された。此の間に同様に取らる等、
 同日午後、同園林會員、結果、結局、劇場の樂座を
 占領した。此の事、
 取沙汰され、
 餘報を得る機會があると思ふ。

(中)

爭議經過

no. 4

昭和 2. 12. 22.

園林會・爭議圖本部